

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
解剖学 I (理学療法学科中心)		必修 (理) 選択 (福)	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
坂本 宏史	D305	sakamoto		木曜日 10:00~13:00	
授業の目的・概要	医療の基礎として、人体の構造と機能に関する正確な知識と理解が必須である。人体の構成単位である「細胞」・「組織」・「器官」・「個体」という成り立ちを理解し、機能的な「器官」のまとまりのうち「循環器系」・「呼吸器系」・「消化器系」・「泌尿生殖器系」を学ぶ。また「発生学」で受精卵から人体が出来上がる過程をについて学ぶ。また解剖学 I の学習を通して知識だけではなく生命に対する畏敬の念を養うことも目的である。感染症予防のため、遠隔授業を取り入れるが、メールやマイクロソフト Teams を利用してフィードバックを行う。				
学習上の助言	医療の専門領域を学ぶための文字通りの基礎科目である。人体の基本的構成単位は細胞と考えられるが、細胞どうしは秩序を持ってまとまり組織となり、さらに肉眼で見える器官、その機能的なまとまりの器官系も人体の構成単位である。人体を理解する上で、この階層性を常に意識して欲しい。				
教科書	解剖学 標準理学療法学・作業療法学 (専門基礎) 第4版/ 野村巖 (編集) / 医学書院 (2017)				
参考書	プロメテウス解剖学エッセンシャルテキスト/ 著: Anne M. Gilroy 監訳: 中野 隆/ 医学書院 (2019) 標準組織学 総論・標準組織学 各論/ 藤田尚男・藤田恒夫/ 医学書院 (2017)				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人体の構成単位である細胞、組織、器官、個体の成り立ちを説明することができる。			PT(1), (2), (3), HSU(1), (2) (2)	
②	各器官 (循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系) の構造特徴を説明できる。			PT(1), (2), (3), HSU(1), (2)	
③	肉眼レベルから顕微鏡レベルでの形態と構造および機能との関連を説明できる。			PT(1), (2), (3), HSU(1), (2)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	細胞について構成要素について基本的構造と機能を学び、組織について概要と上皮組織を学ぶ。 フィードバック (FB) と意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等による授業	課題: 該当する教科書の内容を理解した上で、プリントの問題を解く	6	
2	組織について支持組織、筋組織の特徴と機能を学ぶ。 FBと意見交換: 提出された課題に対して正解を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等による授業	課題: 該当する教科書の内容を理解した上で、プリントの問題を解く	6	
3	血液と循環器の概略 (体循環と肺循環) について学ぶ。 FBと意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等による授業	課題: 該当する教科書の内容を理解した上で、プリントの問題を解く	6	
4	心臓の構造について学ぶ。 FBと意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等による授業	課題: 該当する教科書の内容を理解した上で、プリントの問題を解く	6	
5	動脈・静脈の基本的構造について学ぶ。 FBと意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等による授業	課題: 該当する教科書の内容を理解した上で、プリントの問題を解く	6	
6	身体各部の動脈・身体各部の静脈 (皮静脈・門脈・奇静脈など) について学ぶ。 FBと意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等による授業	課題: 該当する教科書の内容を理解した上で、プリントの問題を解く	6	
7	リンパおよび胎生期の循環と出生後の循環器系の変化について学ぶ。 FBと意見交換: 課題について解説を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等による授業	課題: 該当する教科書の内容を理解した上で、プリントの問題を解く	6	
8	呼吸器系: 気道と肺について学ぶ。 FBと意見交換: 授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型遠隔授業	教科書P360~369の内容の予習・復習、キーワードの抽出	4	
9	消化器の概略・消化管 (口・食道・胃・小腸・大腸) FBと意見交換: 授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型遠隔授業	教科書P370~377の内容の予習・復習、キーワードの抽出	4	

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

10	肝臓および膵臓の機能および腹腔内における臓器の位置関係について学ぶ。 FBと意見交換：授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型遠隔授業	教科書P378～380の内容の予習・復習、キーワードの抽出	4
11	呼吸器と消化器のまとめ（小テストTeamsを使って実施）、FB：採点して返却 泌尿器の概略について学ぶ。 FBと意見交換：授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型遠隔授業	小テストのための復習 教科書P381～383の内容の予習・復習、キーワードの抽出	4
12	腎臓および尿路（尿管、膀胱、尿道）について学ぶ。 FBと意見交換：授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型遠隔授業	教科書P384～389の内容の予習・復習、キーワードの抽出	4
13	生殖器系：男女の生殖器について学ぶ。 FBと意見交換：授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型遠隔授業	教科書P390～396の内容の予習・復習、キーワードの抽出	4
14	内分泌系：各内分泌腺の特徴とホルモンについて学ぶ。 FBと意見交換：授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型遠隔授業	教科書P398～404の内容の予習・復習、キーワードの抽出	4
15	発生学：胚子期および胎児期における形態変化を理解する。外・中・内胚葉について学ぶ。 FBと意見交換：授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型遠隔授業	教科書P21～35の内容の予習・復習、キーワードの抽出	4
試	期末試験（泌尿・生殖器、発生学）Teamsを使って実施、FBと意見交換：採点して返却			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	0	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	48	0	0	0	10	58
	思考・推論・創造する力	12	0	0	0	10	22
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	学期末に期末テスト（30%）ならびに授業内におこなう小テスト（30%）で評価する（Teams 利用）。主に教科書および授業内に提示する資料中のキーワードから出題する。2回の試験結果で全体の60%を評価する。	テストを採点后返却・講評（Teams 利用）
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	個々の自宅学習課題の提出回数・内容を総合的に評価(全体の40%)。	課題の模範解答・解説を提示し、質疑にメールなどで対応
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
<p>担当教員：◎坂本 宏史</p> <p>教員の実務経験：担当教員は解剖学で博士号(医学)を取得しており、本学(専任教員)および山梨大学医学部で長年解剖学の教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。</p> <p>実践的授業の内容：解剖学における人体の構造に関わる項目の概念は、書物や視聴覚教材によって理解できると思うが、臨床時に応用できるまでの確固たる知識やイメージを獲得しにくい部分が多々ある。この授業では、実際に人体解剖に携わってきた教員により、経験に基づく様々な視点から人体の構造についての具体的な解説がなされるため、やがて臨床家となる受講者にとっては実際に即した知識を獲得でき、受講者の疑問への対応を通して、より実践的な教育を受けることができる。</p> <p>感染症予防のため、Teams を使って同時双方向型遠隔授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推薦する。</p> <p>また、今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによって再度シラバスが変更される可能性がある。</p>				